

# 平成24年度南田中小学校学校経営計画

平成24年 4月 2日

校長 梶谷 雅弘

## 1 目指す学校

- (1) 環境美化に努め、児童が安心して楽しく学ぶことができる学校
- (2) 基礎的・基本的な学力をしっかりと定着させ、自己学習力の育成を図る学校
- (3) 授業力の向上に努め、質の高い教師集団をめざす学校
- (4) 保護者・地域の人々に愛され共に歩む学校

## 2 中期的目標と方策

- (1) 共感的な児童理解に基づいた生活指導体制を確立する。
  - ① 授業規律の確立を目指し、全校体制で指導にあたる。また、児童に関する情報を全教職員が共有し組織的に指導に当たる。
  - ② 安心・安全を支える環境整備に努める。
  - ③ 保護者や地域社会・学校応援団及び関係諸機関との連携を図る。
- (2) 基礎的・基本的な学力の定着を図り、自己学習力を育成する。
  - ① 体育館との合築による区立南田中図書館を有する恵まれた教育環境を最大限活用し、南田中図書館と連携し活字に親しむ学校づくりを目指す。積極的に図書館の資料を活用し基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、知識・技能を実際に活用する力を育成する。この活用する力を基礎として、実際に課題を探究する活動を行い自ら学び自ら考える力を高める。
  - ② 実物投影機等の ICT を効果的に活用し、探究的な活動を積極的に推進して、児童の知的好奇心を刺激し、学ぶ意欲を高めたり、知識・技能を体験的に理解させたりして、自ら学び自ら考える力を高める。
  - ③ 各教科を横断して指導に当たり、以下の能力の育成に努める。(体験から感じ取ったことを表現する力、情報を獲得し思考し表現する力、知識・技能を実生活で活用する力、構想を立て実践し評価・改善する力。)
- (3) 教師の命は授業である。この授業力向上のため、互いに授業を見合い良さを吸収しあい学校の授業力向上を図る。
  - ① ベテラン教師を講師とした若手教員の授業力向上を目指した研修会を実施する。
  - ② 校内研究で、各教員が1年に1回以上研究授業に挑戦し、謙虚に学び合う。
  - ③ 平成23年度の研究発表会の成果と課題を踏まえ、さらに研究を深め、都の言語能力向上推進校として活字に親しむ学校づくりを推進し言語能力の向上を図る。
- (4) 学校関係者評価を実施し、保護者・地域に結果を公表する。
  - ① 保護者・地域との双方向の交流を一層図り、家庭や地域とともに教育にあたるために、学校評議員会に評価委員会を設置し、学校関係者評価を実施する。
  - ② 地域の教育力をさらに発掘し、学校の教育活動の推進のために協力をいただく。また、PTAや地域の行事等に教職員が積極的に参加するとともに、児童の参加を呼びかけていく。「南田中小の児童は、地域で育てる。」を合い言葉に、本校の児童を見守り育てていただくよう保護者や地域の皆さんに依頼・発信をしていく。また、地域の行事には、教職員も積極的に参加をする。
- (5) 開設三年目を迎える特別支援学級と各学級を融合させた教育活動を推進し、保護者・地域の負担に応える。

## 3 平成24年度の達成目標と方策

- (1) 共感的な児童理解に基づいた生活指導体制を確立する。
  - ① 『南田中小学校「学習・生活指導の全体計画」』を活用し、6年間を見通した学年の発達段階に応じた「学習や生活に関する躰け」の指導に当たる。  
また、基本的な生活習慣を徹底的に身に付けさせるとともに規範意識の育成に努める。
  - ② 場に応じた言葉遣いや相手を尊重した言葉遣いができるようにするとともに「返事・あいさつ・あとしまつ・ありがとう」を徹底させ正しい人権感覚を身に付けさせる。
  - ③ 問題の早期発見・早期解決と問題の予防・解決を図るため、毎週1回木曜日の夕会で生活指